



1. ITER ビジネスフォーラム2013の開催

2013年3月21日、22日、フランスのトゥーロンにおいて「ITER ビジネスフォーラム2013」が開催されました。2007年から始まり今回で第3回目のITER ビジネスフォーラムには、24か国から企業、大学、研究機関（計386社：内日本からは企業3社、研究機関1社）が参加しました。このフォーラムは、企業が今後のITER 機器調達に参入する機会を作ることを目的としています。フォーラムでは本島ITER機構長からITERの概況説明、各国内機関から調達状況について説明があり、原子力機構核融合研究開発部門副部門長の多田から日本の調達状況を発表しました。また、各機器の調達分野に分かれてワークショップが行われ、それぞれの機器製作に関連する企業が、自社の技術紹介や現

在の製作状況についての展示や説明を行い、活発な議論が行われました（図1）。

2. トロイダル磁場コイルの巻線の製作準備作業を開始

原子力機構は4月、トロイダル磁場（TF）コイルの製作の一環として、TFコイルの巻線試作に用いる中国製ダミー導体と3本の日本製TF導体、また、実機TFコイルに用いる韓国製TF導体、計5本のTF導体の受入検査を実施しました。これらの導体は受入検査に合格し、今後TFコイルの巻線試作および実機の製作を行う予定です（図2）。

3. ITER 計画の展示と ITER 機構職員募集説明会の実施

原子力機構では、我が国からITER 機構への職員の応募を促進する活動の一環として、これまで国内外でITER 計画の展示やITER 機構職員公募の説明会を行っています。この度、平成25年度電気学会全国大会（3月20～22日 名古屋大学 東山キャンパス）、日本原子力学会2013年春の年会（3月26～28日 近畿大学 東大阪キャンパス）および日本原子力学会北関東支部総会（4月19日 茨城県東海村）においてブースを出展し、来訪者の方々にITER 計画などの資料を配布し、ITER 機構職員募集および登録の案内を行いました。これらの詳細については那珂ITER ウェブサイト(<http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/index.html>)の「ITER 機構職員募集の説明会について」をご覧ください。

（日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門）



図1 ITER ビジネスフォーラム2013の様子（多田 原子力機構副部門長）。



図2 直径4mに巻き取られた導体（左奥：中国製ダミー導体、右奥実機TFコイル用の韓国製TF導体、他：日本製TF導体）。